# 日産厚生会玉川病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

| | |
|---|---|
| 研究課題名 （研究番号） | 特発性特発性側彎症を合併した原発性自然気胸の特徴<br>（No.　　　　　　　　　　　） |
| 当院の実施責任者<br>（所属） | 坪島顕司（気胸研究センター） |
| 他の研究機関および<br>各施設の研究責任者（所属） | なし |
| 本研究の目的 | 日常生活の中で、肺が自然に破裂してしまう疾患を自然気胸と言います。特に肺気腫などの基礎疾患がないにも関わらず、発症する自然気胸は原発性自然気胸と呼ばれています。若い男性に多く、ほとんどの場合は胸部エックス線検査で診断されますが、同時に特発性側彎症も指摘されることは当センターの経験的には珍しくありません。特発性側彎症は特に原因がないものの背骨が曲がってしまう疾患で1-4%の方に発症するとされていますが、原発性自然気胸の患者では、それ以上に多く合併している印象があります。そのため原発性自然気胸と特発性側彎症には何らかの関連性が疑われますが、そのような観点から行われた研究はほとんどありません。<br>今回、当院で原発性自然気胸に対して手術を受けた方を対象とし特発性側彎症の有無で年齢や性別などに違いがあるかどうかを調査いたします。<br>本研究を学会、論文発表することで、原発性自然気胸の病態がより明らかになることが期待されます。 |
| 調査期間 | 倫理委員会承認後から2025年3月31日まで |
| 研究の方法<br>（使用する試料等） | ●対象となる患者さま<br>当院で2016年1月から2023年8月までに原発性自然気胸に対し当院で原発性自然気胸に対して手術を受けた方（特発性側彎症をお持ちの方約40名、特発性側弯症をお持ちでない方約600名）<br>●利用する情報<br>カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します |
| 試料/情報の他の研究機関への<br>提供および提供方法 | 共同研究施設以外への試料・情報の提供はありません |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除し解析を行います。また、研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究のために収集したデータは共同研究以外では使用せず、研究終了後5年間保管し、その後はすみやかに消去します。 |
| 本研究の資金源<br>（利益相反） | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません |

| | |
|---|---|
| お問い合わせ先 | 電話：03-3700-1151（代表）<br>担当者：坪島顕司 |
| 備考 | |